
銀魂×復活!恋するあの子は白夜叉の妹！

雲霧 柚留

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

銀魂×復活！恋するあの子は白夜叉の妹！

【Nコード】

N4421L

【作者名】

雲霧 柚留

【あらすじ】

銀魂×復活混合夢。

ある日、愛犬の「貞義^{さだよし}」とトリップした、ジャンプ大好きな天パ、坂田銀時を兄に持つ、天然キュートな少女の物語。

落ちは・・・まだ考え中。ドキドキしながら読んでくれると嬉しいな♪

自己紹介だコノヤロー（前書き）

キャラ壊れ&口調違いなどは大目に見てください

自己紹介だコノヤロー

自己紹介です。ちなみにヒロインは「貞義^{さだよし}」という名前の貞春にそっくりな犬を飼っています。（もちろん大きさも一緒）

名前・坂田^{さかた} 銀音^{ぎんね}

性別＆特徴・長髪＆天パの女だコノヤロー

口癖・「コノヤロー」「はあ!?!」「嘘!」「甘党で何が悪い」

性格・極度の甘党＆天然

癖・銀さんみたいに着物の上に羽織(?)を着て、その首元に手を突っ込む

武器・木刀

趣味・貞義との散歩、楽器演奏(笛)

好物・甘いもの、おにぎり

好きな男の人・優しくてかっこよくて、少しは剣が強い人

こんな感じです。

自己紹介だコノヤロー（後書き）

よし、次から書きます

万事屋の朝は早いぞコノヤロー（前書き）

捏造アリです。

万事屋の朝は早いぞコノヤロー

万事屋の朝はある意味早い。

「ふあああ・・・貞義、貞春、おはよう」

「アン！」

「キャン！」

「朝から元気だねえ、2匹とも」

「銀音、おはようアル」

「あれ？兄貴は？」

「まだ寝てるアル」

「まったく・・・昨日遅くまでジャンプ読むからそうなるんだよコノヤロー」

「お前らが早すぎなんだよ、銀音、神楽。」

「うるせー天パ兄貴。天パの癖にうるせーぞ」

「お前だって天パじゃねーか！あとうるさいって2回言っただよな！？」

「大事なことから2回言っただけですが」

「お兄ちゃん傷ついちゃう・・・」

何か知らないけど、兄貴が縮こまって部屋の隅での字書き始めた。

「おいで、貞義！」

銀音が愛用の木刀を持って、貞義に飛び乗った。

「ワンッ！」

「銀音、どこいくアル？」

「貞義の散歩に行ってくる！」

「わ、わかったアル／＼（やっぱり銀音は可愛いアル・・・）」

その散歩で凄いことになるとは知らない様子。

続く（＾　＾）

万事屋の朝は早いぞコノヤロー（後書き）

やっとー！やっとー！

こっちは散歩中だコノヤロー（前書き）

トリップはもう少し先に書きます。

こっちは散歩中だコノヤロー

ある意味ヒロインは天然で超モテ子。

「貞義ー今日は海行こうか海」
「ワンッ！」

港より少しはなれた砂浜。銀音にとって誰もいない秘密の穴場。

「風強い……」
「クウン……」

長くて少し天パが入った銀髪がなびく。

着物のすそがゆれる。そして貞義の首にかかっている赤のリボンがゆれた。

（貞春とそっくりなので目印）

「……貞義……。」

きゅっと、優しく貞義の首元を抱きしめた。

「やわらかくて、気持ちがいいな……」
「ワン！」

「帰るか。帰りにバナナオーレと兄貴に頼みたいちごオーレ買おうね」

「キャン！」

「ただいま！」

「お帰り、遅かったアルネ」

「ちよつとね・・・てへへ」

「まさか彼氏とかじゃねえよな！」

「黙れシスコン兄貴」

「・・・くすん」

「お帰りなさい」

「キャン！」

「ワンツ！」

ああ、これが私の日常だと思ってたのに・・・
なんであんなことに・・・？

続く

こっちは散歩中だコノヤロー（後書き）

なんか銀さんが不憫。

どっかのパイナポーみたいじゃん

着物でも走るのは得意だコノヤロー（前書き）

キャラ崩・・・壊？

ギャグ交じり・・・かもしれない。

着物でも走るのは得意だコノヤロー

今日は、貞義の散歩はお休み。なんていつても、雨だから。

「・・・はあ・・・雨かあ・・・」

がさがさつと、兄貴の本棚を漁る。・・・言うておくが、ジャンプを探してるだけだからな。

別に兄貴の・・・な本とか探してないからな・・・うん・・・探せば出るかもしれないけどさ・・・

「何してるアル？銀音」

「ジャンプの3月号ってどこー？」

「銀ちゃんのことだから、たぶん奥にしまつてあると思うネ」

「まったくあの兄貴は・・・ONTYだな」

「O（思いやりの）N（無い）T（天パ）Y（野郎）アルカ」

「おお、神楽ちゃんすごいねー」

「ワン」

「貞義、偉いね。見つけてくれたんだ、3月号」

「貞春、暇なら貞義と遊ぶアル」

「どったんばったんしないならね」

「キャン」

「クウン」

雨が上がって、日がさしてきた。

「貞義、貞春！外で遊ぼうか！」

「ワン！」

「キャン！」

なんだか嬉しくなって、着物のすそも持たないで、走り出した。

続く

トリップだと？そんなもんあったのかコノヤロー

え？ここ別世界か？ありえねーよコノヤロー。

「確か・・・貞義と散歩に出かけて・・・いつもの砂浜に行ったら・
・何か知らないけどピカーって光って・・・んで・・・」

「クウウン・・・」

「貞義！」

「ワンッ！」

「ジャンプで呼んだけど、トリップってあったんだな。」

「ワン」

「よし、とりあえずここは江戸じゃないことがわかった。」

「ワンッ！」

「よし。不幸中の幸いか、木刀はある。その辺回るか、貞義！」

「ワンッ！」

夕日が眩しくて、兄貴のことを少しだけ思い出した。

兄貴のバイクと私。

きつとここは別世界なんだろう。

戻れるかどうかなんてわかんない。

でも、希望を持つことにしたぞ、コノヤロー！

続く

トリップだと？そんなもんあったのかコノヤロー（後書き）

短くてすみません

貞義がでかいからってじろじろ見るなコノヤロー

貞義に乗って、その辺走り回ってたら、なんか知らないけどじろじろ見られた。

そりゃあそうだろうな。貞義が原因だろうな。貞義ただでさえでかいしな。

「（火薬の匂い！）貞義お座り！！」

ドギウウン・・・

「おいお前」

「・・・赤ん坊？」

おいおい冗談はやめてくれよ。

何で赤ん坊が実銃持つてんだよ？この世界じゃ当たり前かコノヤロー！。

「そつだぞ」

「あれ？声に出てた？銀ちゃんびつくり」

「俺は読心術が使えるからな」

「へー・・・ところで貞義によくも銃撃ってくれたよね！ニコチンマヨラーもサドスティック王子もそんなことしなかったけど！？」

「誰だよ」

「・・・貞義、大丈夫か？」

「キユウウウン・・・」

（こいつ、何者だ・・・？）

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4421/>

銀魂×復活!恋するあの子は白夜叉の妹！

2010年10月14日14時37分発行